

C、L：ローマ数字で100、50を表す

◆巻頭言 ウェルビーイングの実践を目指して

『自然界の有り様を自然のままに受入れ我慢もし、足りない所は工夫し補う生活を実践し、科学技術は人間だけがより良い生活を求める術でなく、地球全体がより良い環境でいられるような技術になる事が必要になった年なるかも知れないと結びます。』（昨年の巻頭言結び）。ウェルビーイングは：肉体的にも、精神的にも、そして社会的にもすべて満足した状態と定義されるそうです。

今年は、新型コロナウィルス騒動で全世界が恐懼、大混乱し社会生活も色々と規制が掛かり重苦しい心晴れない大晦日を迎えるかも知れません。しかし、個人としては19年の結びを信じ、どんな小さな事でも今できる事を行ない、自身のウェルビーイングの実践が結びに近づくと信じ無理せず歩もうと思います。（渡邊 富男）

次回の予定 ● 2年11月、12月活動予定

※活動可否の連絡に関して：原則、小雨決行です。中止の場合は緊急連絡網（am7時頃）で連絡致します。

① 日時：11月8日（日） 9:30～14:30 定例作業

- ・集合場所：池の下広場倉庫前 ・集合時間：9:30（可能な方は9:00に）
- ・作業場所：いっしんどう広場エリア
- ・作業目的：景観保全型落葉広葉樹林を目指した森づくり作業
- ・作業内容：使用器具の整備、点検（貸与道具の整備含）：ボラ塾生の受入れ：いっしんどう港南台側斜面地の草刈りと林床整理：ボラ塾生への伐採講習
- ・持ち物：常備具（手ノコ、ナタ、カマ）、お弁当、飲料水、その他必需品。

【持参器具】チェーンソー、刈払機、防護用具、ロープ、救急箱、シート、作業旗

② 日時：11月22日（日） 9:30～14:30 定例作業

- ・集合場所：池の下広場倉庫前 ・集合時間：9:30（可能な方は9:00に）
- ・作業場所：いっしんどう広場エリア
- ・作業目的：景観保全型落葉樹林を目指した保全作業
- ・作業内容：使用器具の整備、点検：いっしんどう広場エリア～尾根道エリア間の林床整理
- ・持ち物：常備具（手ノコ、ナタ、カマ）、お弁当、飲料水、その他必需品。

【持参器具】チェーンソー、刈払機、防護用具、ロープ、スコップ、救急箱、シート、作業旗、カケヤ

③ 日時：12月13日（日） 9:30～14:30 竹林整備作業

- ・集合場所：公田西駐車場 ・集合時間：9:30
- ・作業場所：公田竹林
- ・作業目的：竹林の再生と景観保全目指して
- ・作業内容：枯れ竹、老竹、密集竹の伐採と片付け：自然体験教室の竹細工品の検討
- ・持ち物：常備具（竹ノコ、ナタ、剪定バサミ）、お弁当、飲料水、その他必需品

【持参器具】作業旗、救急箱、シート

（2年11、12月号の原稿に関し、上記活動報告は戸賀澤氏、巻頭言は佐谷氏、リレートークは星野氏です。原稿の締め切りは2年12月15日（火）です。年末年始の連休や繁忙を考え、前倒しました。12月13日の活動報告15日中にお願ひします。押木氏迄宜しくお願いします。）

欠席される方は、メール（TOKAMI6666@aol.com）又は電話（894-2800）で山上部会長迄

【瀬上さとやまの会の 活動日誌】

1) 令和2年8月30日(日) 晴れ いっしんどう広場の草刈りと剪定

・参加者: 三島、江里口、渡部、佐谷、石渡、山上、茂木、高嶋、河野(新人)、伊藤 計 10 名

・活動内容: ●臨時で8/9 やり残した作業の続きをし、なおいっしんどう広場での刈込み。愛護会委託の草刈り、前回刈り残した部分を含め、いっしんどう広場のツツジ等を剪定。



ツツジの剪定



下草刈り



草刈り後、きれいになった

(2) 令和2年9月13日(日) 晴れ 9:30~12:30 いっしんどう広場の草刈り

・参加者: 江里口、三島、渡部、渡邊、山上、佐谷、高嶋、浅見、枝村、河野、長谷川、石渡、武内、小宅、野沢、伊藤 計 16 名

・活動内容 ●9:30までにチェーンソーや刈払機、オオカマなど道具の手入れし、9:35からラジオ体操をし、今日の作業を説明。その後いっしんどう広場に移動。●10時頃から西側斜面地(A2地点)の草刈りを開始し、11時頃休憩を取り11:40頃作業終了し打合せ。背丈より高くて繁茂した下草を大勢で刈る威力を実感。●12時頃池の下広場倉庫に着き、コーヒープレイクして解散。

●打合せ事項: ○愛護会委託の草刈りは10月中に作業日以外の日(土曜日)に実施し、但し3名以上の会員確保が条件。作業参加者には手当を考える。了承。○自然公園への当会としての提言は山上会長名でA4一枚程度で提出(9.17の役員会に)。○10月より午後からも作業を行うので、弁当を持参。



体操で体をほぐして、いざ作業



斜面地の作業は体に来ます



大勢で作業すれば短時間で終了

(3) 令和2年9月27日(日) 曇りのち晴れ 9:30~12:20 道場丸広場の草刈り

・参加者: 渡邊、渡部、三島、石渡、浅見、枝村、高嶋、長谷川、武内、竹内、河野、小宅、山上、伊藤 計 14 名

・活動内容: ●9:25頃からラジオ体操をし、今日の作業内容を説明し、道場丸広場へ移動。10時前に到着し、草刈りを開始。背丈以上に伸びた雑草や植樹したコナラ等の苗木周りを丁寧に刈込む。途中休憩を挟み11:50迄作業し、その後打合せをして、コーヒープレイクして12時半頃解散。

●打合せ事項: ○谷戸の子供教室:10月25日、いっしんどう広場で実施。現時点で6家族参加予定、3班に分ける。10月11日に場所の草刈りや玉切りの受け台の作製など下準備。○来年度レンジャー受け入れについては対コロナ対策を万全に。○提案の道場丸近辺の耕作地については取り敢えず木の育苗地として当会で借りてみる。○臨時実施の遊歩道沿いの草刈り(愛護会委託)は10/17(土)に予定。他の部会も誘い協力が得られたら相応の対価を本部へ支払う事に同意。○公田竹林の手入れは12月13日の定例作業日に行う。○水

辺部会より杭の提供を受ける。



まずはラジオ体操で体をほぐす



手入が行届いていない、伸び放題



作業後はこんなにきれいに

(4) 令和2年10月11日(日) 曇りのち晴れ間も 9:00~12:30 いっしんどう広場の草刈り

・参加者: 渡邊、渡部、三島、高嶋、河野、石渡、山上、武内、枝村、戸賀澤、伊藤 計11名

・活動内容 ●9:30よりラジオ体操をし、今日の作業の説明。午前中は谷戸の子供教室の準備、余裕があれば午後氷取沢側の草刈り。刈払い機、カマ等を持参し、移動後、作業開始。 ●玉切りエリア3ヶ所の設置、伐採木12本の選定、作業周囲の林床整理等を行う。 ●11時頃休憩を取り、12時前に作業終了し、池の下広場倉庫に戻り、昼食、打合せ。コーヒープレイクして、12時半前に終了し解散。

●打合せ事項: ○子供教室の準備は終了。コロナウィルス対策として、事務局でアルコールを用意、ノコ、ヘルメット、子供用手袋は部会で対応。25日は9時集合。子供教室後、港南台側斜面の草刈りをする。 ○公田竹林は12月に手入れする。 ○11月ボラ塾生受け入れは道場丸です。



草ぼうぼうの状態



玉切りエリアを作る



草刈り終了、何時でも教室はOK

(5) 令和2年10月18日(日) 晴れ 池の上広場と中尾根の草刈り

・参加者: 山上、竹内、武内、河野、高嶋、三島、江里口、渡部 計8名

・活動内容: ●10/17予定の作業が雨天で10/18に。8/30に引き続き愛護会委託の草刈り。



下草刈りのアフター(池の上広場)



下草刈りのアフター(同左)

(6) 令和2年10月25日(日) 晴れ 9:00~13:00

・参加者: 浅見、渡邊、佐谷、渡部、三島、茂木、武内、石渡、枝村、河野、高嶋、山上、竹内、小宅、伊藤 計15名、

谷戸の子供教室参加者: 大人、子供併せて5家族:18名、事務局: 中塚

・活動内容 ●9:30までに今日使用する刈払い機、カマなどの手入れ、子供教室に使用する用具:ノコ、ヘルメ

ットなどの用意。樹林地部会員を子供教室組(山上、渡部まとめ)と草刈り組(渡邊、三島、茂木)に分け、さらに子供教室組は3つに班分け。 ●9:30 からラジオ体操を全員でし、子供教室で行う作業内容:伐採と玉切の説明と参加者の3班分けをし、その後、班毎に部会員と参加者が一緒にいっしんどう広場に移動。 ●10 時頃から子供教室を氷取沢側で班毎に分かれて作業開始、不用木の伐採、厚さ1から2cm程度にシロダモなどの玉切、玉切した木片のやすりかけなどを実施。11:15 過ぎに作業を終了。山上会長が挨拶し、高嶋さん作製のやじろべえ、コースター、靴べら等を配布し解散、下山。 ●下草刈り組は港南台側の斜面地の草刈り、ササや草は伸び放題状態。 ●11 時半前から昼食を取り、11:45 から全員で港南台側を草刈り、1 時間程度作業し終了。その後、後片付けをしてコーヒープレイクして解散。

●打合せ事項: ○中塚氏より収穫したコメの配布先が見当たらないとの話有、当部会に？



子供教室、親の方が非常に熱心



港南台側斜面地の下草刈



高嶋さんの作品が参加者へのお土産

(武内、伊藤、枝村記)

◆ リレートーク

長谷川光子

暑さと何かと重苦しい夏も去り、やっとひと息と思えど早々と暖房のほしい程の日も現われ、とまどう。今年は春から小さな生き物達が庭を訪れてくれた。

トカゲ、カナヘビ、ヤモリ、カタツムリ、大きなのと小さな小さな赤ちゃんが3尾、みの虫、シジユウカラは二羽が元気に巣立っていった。

雨ばかりの7月初旬、大きなポリバケツの水の中に、大きなガマガエルを発見、地面に出してやっても、じっと留まっていたが、何時の間にか居なくなった、五日後表の植木鉢の下に、こんな所に居たの。三年も前に1センチにも足りない小さな黒い赤ちゃん姿に会ったのが最後だった。お向の池がつぶされ、セメントの庭に変わり、それ以来会えなかったのに感激。雨が無く乾くと物置の下にもぐり、降ると植木鉢の下へ。9月20日以来姿を見せなくなった。物置の下で冬眠かな、元気な姿に来年も会えたら嬉しい。

コロナウィルスに振り回された10ヶ月、これからインフルエンザの仲間入りも間近、負けずに皆さんと元気に過せますように。

◆ 編集後記

最近、山上さんより作業後にコーヒーの提供が続いています。非常に感謝しています。ルティーン化して当たり前と思う自分にちょっと怖い気がします。コロナ克服よりもコロナと共生が強く求められています。長丁場に頑張りましょう。(枝村)